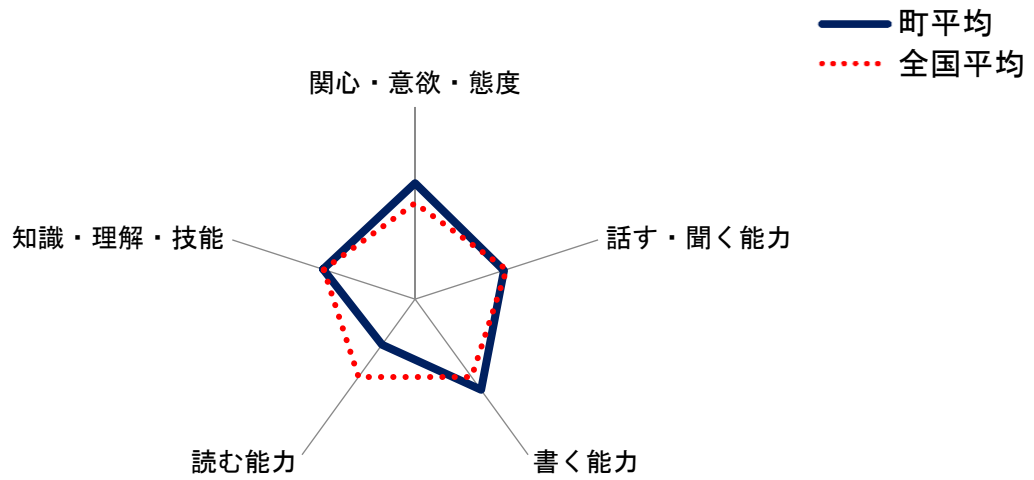
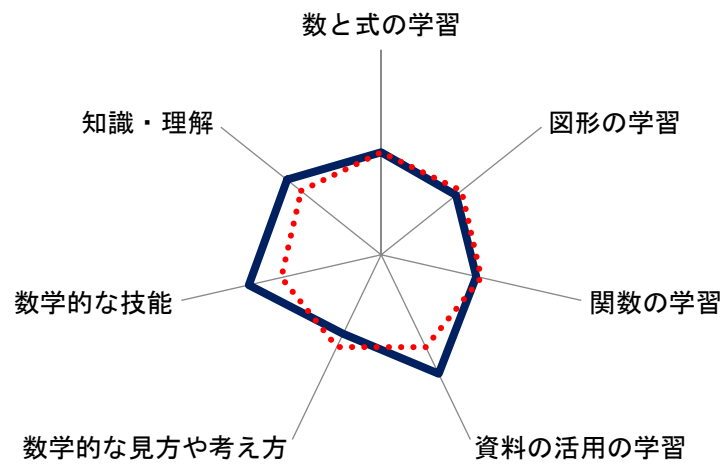


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

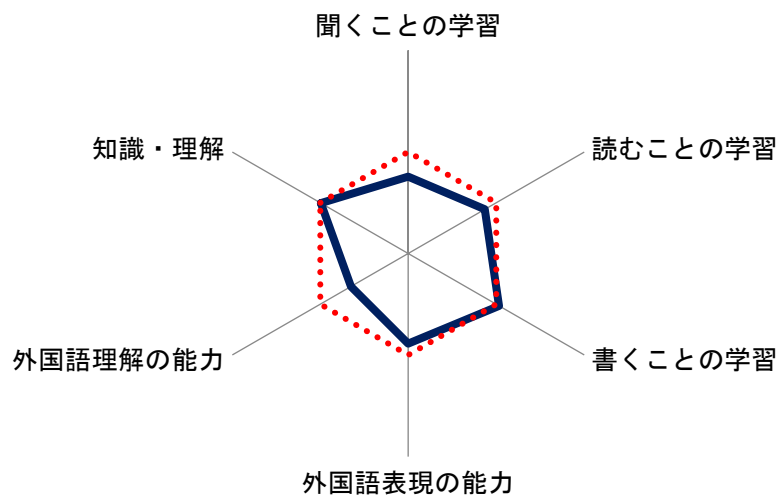
【国語】



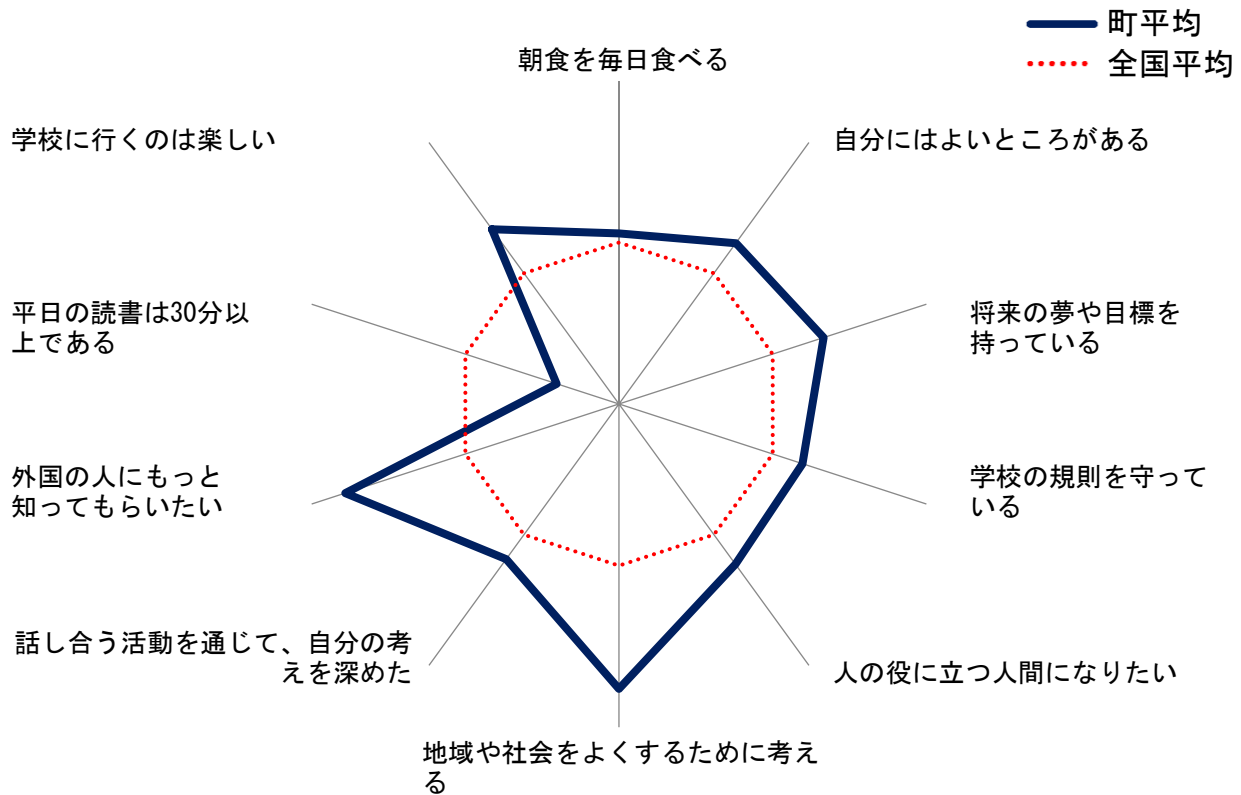
【数学】



【英語】



○ 生徒質問紙調査 (全国の平均回答率との差：肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、数学において、「数学的な技能」、「資料の活用の学習」の項目が全国平均を上回っている。一方、国語の「読む能力」、英語の「外国語理解の能力」、「聞くことの学習」が全国平均を大きく下回っており、今後、各教科の設問ごとに詳細な分析を行い、課題を洗い出すことで、生徒一人一人の実態に応じたきめ細かな指導に向けた授業改善に取り組むことが望まれる。

生徒質問紙調査では、取り上げている多くの項目が全国平均を大きく上回っている。特に「地域や社会をよくするために考える」の項目が、小学校と同様に良好である。「平日の読書は30分以上である」の項目は、依然、全国平均を大きく下回っており、課題である。今後は、より一層、読書活動の充実に向けて、小・中学校で連携した取組や家庭や地域への啓発等を工夫するなど計画的な指導が望まれる。